

○酪農:輸入飼料と資材の価格高騰により、経営が不安定になっており、**自給飼料の活用**や**TMRセンター等の外部支援組織との協調**に基づく生乳生産性の向上が必要である。

○肉用牛:全国的な繁殖雌牛の減少により、子牛価格が高騰しており、**繁殖雌牛の生産性と子牛の育成管理技術の向上**に基づく市場上場頭数確保及び高い市場評価の獲得が必要である。

○関係機関・団体等と連携し、酪農家及び和牛繁殖農家の生産性向上を実現を支援していく。

目標とする成果

目標を達成するための普及活動

1. 酪農(TMRセンター及び利用酪農家8戸)

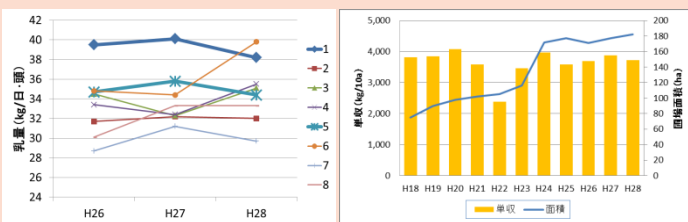
(1) 生乳生産量の増加

■TMRセンター利用酪農家の出荷乳量(現状に対する出荷乳量割合の増加)を目指す。

現状(H26年度):100%→実績(H28年度):104%
→目標(H30年度):104%

個体乳量(H28):34.8kg/日・頭

トウモロコシ収量(H28):3,720kg/10a



2. 肉用牛(久慈地域和牛繁殖重点対象巡回指導)

(1) 和牛子牛市場評価の安定・向上

■中央市場平均価格以上の評価を目指す。

現状(H26年度):100%→実績(H28年度):102%
→目標(H30年度):101%

1. 酪農(TMRセンター及び利用酪農家8戸)

(1) 良質粗飼料生産の安定(H27~30)

■定期に開催される検討会において、飼料用トウモロコシ生産圃場の生育ステージ毎の調査、品種比較及び除草剤試験圃の結果に基づく施肥・除草・適品種等の技術的提案、効果検証を実施。

(2) 生乳生産性の向上と安定(H27~30)

■経営体毎の検討会を定期に開催し、乳牛モニタリングや牛群検定成績を用いた飼養状況把握に基づく技術的改善提案、効果検証を実施。

2. 肉用牛(北部和牛繁殖農家巡回プロジェクト)

(1) 繁殖雌牛の飼養管理技術の向上(H27~H30)

■定期に開催される検討会において、牛モニタリングや繁殖台帳を用いて、繁殖管理や飼料の適正給与について改善提案、効果検証を実施。

(2) 子牛育成管理技術の定着(H27~H30)

■子牛の発育向上に向け、牛舎環境・衛生管理、暑熱・寒冷対策、飲水・飼料給与について定期市場前巡回指導を実施。

今回の普及活動の特徴

関係機関との連携

■中央農業改良普及センター軽米普及サブセンター(農業革新支援センター)が、TMRセンター、酪農家及び関係機関・団体と**連携**して、**TMR品質安定に向けた良質粗飼料生産技術及び乳牛飼養管理技術の向上**を図る。

■中央農業改良普及センター軽米普及サブセンター(農業革新支援センター)は、関係機関の**コーディネート、技術導入指導、検討会**開催。

■県北振興局は、現地対象農家との調整、補助事業の活用に係る**情報提供・指導**。

■中央農業改良普及センター軽米普及差分センター(農業革新支援センター)が、和牛繁殖農家及び関係機関・団体と**連携**して、**繁殖雌牛及び子牛飼養管理技術の向上・定着**を図る。

■県北家畜保健衛生所は、**疾病の予防や対策、衛生管理**の情報提供・指導。

■JAは、現地対象農家の**情報収集**や軽米普及サブセンターと連携して、**技術の導入・普及を推進**。